

日時 平成24年11月19日(月)13:15~17:30

場所 日本学術会議6-C会議室
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口

FRONTIERS
FUTURE

人間の意志は未来の社会を形作ることが出来るのか。困難な時代にも、叡智を見出すことは可能なのだろうか。2010年代は、日本社会にとって改めてそう問いなおす節目の時代であるのかもしれない。

本シンポジウムでは、近年行政や学术界において提案された様々な未来のビジョン策定に関わった関係者と共に、未来の社会における学術の役割や、学術と市民社会・行政との関係について展望することを試みる。

学術と未来想像

人は未来の社会を展望できるのか

日本学術会議若手アカデミー委員会 公開シンポジウム

13:15 開会の言葉 大西隆（日本学術会議会長）

13:25 来賓挨拶 古川元久（前国家戦略担当大臣、衆議院内閣委員長）

13:40 基調講演

- 「未来のデザインについて考える」

高木美香（経済産業省通商政策局国際経済課課長補佐）

- 「学術知と社会課題とをつなぐ：埋没知を乗り越える手法と新たな人材育成」

坂田一郎（東京大学政策ビジョン研究センター教授）

- 「日本の科学の展望」

金澤一郎（前日本学術会議会長、国際医療福祉大学大学院院長）

- 「近現代社会と未来想像～人はなぜ未来を語るのか」

隠岐さや香（広島大学大学院総合科学研究科准教授）

- 「持続可能なまちづくりと学術」

村上暁信（筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授）

16:30 パネルディスカッション

司会 駒井章治（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授）

参加費無料 事前申込は必要ありません

問い合わせ先：日本学術会議事務局 東京都港区六本木7-22-34

審議第一担当・鳥生 tel 03-3403-6289（平日） fax 03-3403-1640